

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	「生活のなかでの近所づきあいや地元の活動、地域住民との交流に積極的に取り組み、利用者が地域とつながりながら暮らしていけるような取り組みを期待したい。」との指摘あり。	利用者様が、外に出掛けるというのは、物理的に簡単でないで、地域の方に施設に来ていただくことを主に考え、利用者様と交流がより密に行えるようにする。	以下のような内容のパンフレットを地域(1000戸弱)に配布させてもらい、交流を密にする手だてをしたい。 1. 娯楽や話し相手、傾聴、遊ビリテーションのボランティアのおねがい。 2. 「認知症相談窓口」の利用を紹介する等。	3ヶ月
2		聴力・視力・認知力・コミュニケーション能力等に大きな差があり、レクリエーション・遊ビリテーションなどで、全利用者様を楽しませ、活動させるのがうまくいかなかったりがある。	利用者様がより快適で生き甲斐があり、幸せな生活ができるよう、利用者様とスタッフがより親密でなじみの関係が深められるようにする。	左の目標達成のためには、明るく楽しくやり甲斐のある職場づくりを常に目指す。その一助として、レクリエーション介護士2級(または1級)資格取得の研修を行って、力量を高め、自信を持って行えるようにする。	6ヶ月
3		入浴やトイレのケアを抵抗なく受け入れてくれることのあるが、時々受け入れず、スタッフの時間や心身の負担が大きくなるような利用者様が、少数居る。	入浴やトイレのケアを快く受け入れ、それらが円滑に行われるには、どのような方法がよいか、追究する。	出発点として、「ユマニチュード入門」にある、「心をつかむ5つのステップ」の項を参考にし、その他の文献や他施設の方法も教えてもらい、実践する。また、日頃の声かけ(ラポール、プラスのストロークを念頭に)を通じ、利用者様とのなじみ関係を深化させ、よく協力してもらえるような声かけ等を工夫する。それらを施設内で検討する。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

0274(74)7708

18-03-23;08:50PM;グループホームめぐみ